

1855 年安政江戸地震の震度データベースの構築(2)

—宇佐美(1995)の詳細震度分布図のデジタルアーカイブ—

石瀬素子・中村亮一(東大地震研)・村岸純(八洲学園)・酒井慎一・平田直・宇佐美龍夫(東大地震研)

安政江戸地震は、安政二年十月二日(1855 年 11 月 11 日)に発生し、江戸市中を中心に甚大な被害をもたらした。また、その地震動は本州一帯で感じられたことが、各地の史料に記されている。

これら史料の整理と解釈により、安政江戸地震の震度分布の検討が行われてきている(佐山, 1973; 宇佐美, 1995; 中村・松浦, 2011)。このうち宇佐美(1995)では、全国約 3500 地点における膨大な被害情報とこれに基づく推定震度がまとめられている。

しかし、宇佐美(1995)による震度情報は、付表お

よび付図として与えられた紙ベースのデータであるため、震度をデータとした発展的な検討や研究を行うのが困難な状況である。

そこでわれわれは、宇佐美(1995)のデジタルデータベースの構築を進めてきた(中村・他, 2019)。この度、一部の位置不明点を除く推定震度データセットが完成したので、これについて紹介する。以下に、QGIS を使用してプロットした震度分布図を示す。

謝辞:本研究は文部科学省受託研究「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト」の一環として実施されました。記して感謝いたします。

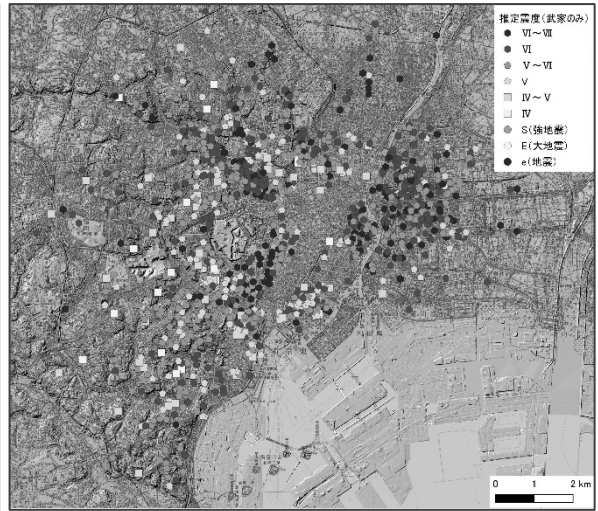
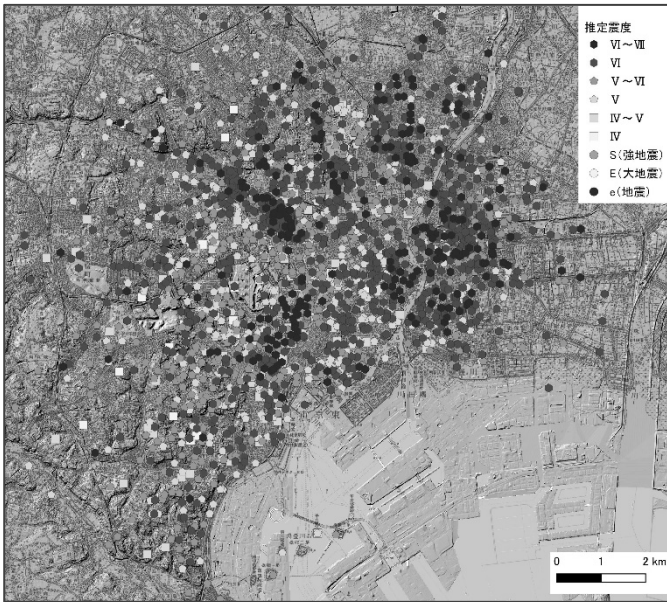


図. 江戸周辺(左上), 武家屋敷のみ(右上), 関東周辺(左下), 広域(右下)の震度分布図.

